

2026年度 輸送の安全目標・計画

目標 事故削減

- ① 自動車事故報告規則2条に規定する事故（重大事故）ゼロ（0件）
- ② 人身、対物事故 ゼロ（0件）
- ③ バック事故 ゼロ（0件）

	重大事故		交通事故		内訳
	目標	実績	目標	実績	
2025年度 (前年度)	0件	0件	0件	1件	1件(人身0件・物損1件) (内無責0件)
2026年度 (当年度)	0件		0件		

※ 重大事故は、自動車事故報告規則第2条に規定する事故をいう。

※ 交通事故は重大事故を除く有責・無責のすべての事故をいう。

安全に関する重点施策と教育方針

1. 安全運行に関する乗務員教育を定期的実施し、安全に対する意識の向上を図ります。
「集合教育」 乗務員、内勤者が集まり情報の共有を行います。
「個別教育」 新人ドライバー、事故怠起者、高齢ドライバーなどに対して安全に対する教育を行います。
2. 定期的に健康診断を行い、体調管理を把握して参ります。
3. 適性診断での定期調査、ヒヤリハットを提出し日頃から安全への意識を高めます。
4. 出庫時、帰庫時及び宿泊地への到着時、出発時に運行管理者による 厳正な点呼と共にアルコールチェック、血圧検査を厳格に行います。
5. 安全に関する情報の共有・非常時における伝達が速やかに行われるための連絡体制を確立、実施します。
6. バック事故を防ぐため、後進前の安全確認の徹底及び、バック誘導時の声掛けと補助の徹底。

2026年4月1日

リアス観光株式会社
代表取締役 大久保 誠